

平成 29 年度草の根育成助成 助成事業紹介

分野	福 祉 分野
事業名	居場所交流場所の提供
団体名	まなび屋 ひまわり
実施場所	東村山市青葉町 3-4-18 NPO「実家」を活用
地域の課題	地域には『高齢者世帯の認知症への不安と地域内における孤独化』『豊かに育つためのモデルである親等の保護者の留守の常態』と『社会貢献を求めているリタイヤしている高齢者』が地域内でネジレの交差状態が見られています。地域の高齢化への不安と留守家庭の子の独り寂しさの解消が交わることも無いまま苦悩していることが喫緊の課題です。
事業紹介	活動する範囲は東村山市近郊内の高齢者を対象者と位置付け、事業を行う。 気軽に来やすい環境と推進を計り孤立化の不安解消の場・引き籠りがちな高齢者の気持ちを受け止め合える場・交流の場の提供、年令を超え児童・青少年とも交流ができる窓口の場と関りをする。 ●毎月の脳科学等を取り入れたトレーニング(脳トレテキストの活用)の実践と、随時の交流や相談の場所の確保。 ●資料代¥300/月 & 飲み物等；¥200 程度/回
担当者コメント	気軽に立ち寄り交流を楽しめる居場所は出不精になりがちな高齢者の孤独の和らぎの場となり、トレーニングが発想の柔軟性に繋がり、若年者への違和感の解消や相互の理解と肯定感の確認など楽しむことが大切です。
団体紹介	人は全面依存の中で生まれ、親や世代を超えたアドバイスを選択しながら不安と自己肯定の模索を繰り返して不安の少ない安心安全豊かな生活を求めます。しかし、頼る親や見護る大人が居ないと自己防衛に固執しやすいのですが、そんな気持ちに寄り添い、見護り、社会に貢献できる人に成長する様に応援しているのが、『実家』です。 社会の中で豊かに自活するには、地域の世代を超えて支え合える環境があることが重要です。